

## 内外政

- ・30日、フューレ欧州委員は、EUは東方パートナーシップの枠組みで、モルドバに対する改革支援のため、追加で3,500万ユーロを供与する旨発言。
- ・1日、モスクワ訪問中のカンドゥ副首相兼経済相は、ロシアによるモルドバ産農産物及びアルコール飲料の禁輸処置には、経済的にも法的にも根拠がない旨、及び、連合協定署名は、ロシアを悲ませたかもしれないが、モルドバにとって不可欠であった旨発言。
- ・1日、トロエンコ国防相及びアラサニア・グルジア国防相は、トビリシにおいて、軍事部門の二国間協力に関する覚書に調印。
- ・2日、民主党は、共産党が国民に対しEU加盟に関する偽情報を拡散しているとし非難。

- ・2日、レアンカ首相は、ポンタ・ルーマニア首相とともにキエフを訪問、ポロシェンコ大統領及びヤツェニウク首相と会談し、モルドバによる困難な時期にあるウクライナ国民との連帯を表明。三国首脳は、三国協力、政治対話発展、情勢解決、地域の安全保障強化等につき議論。
- ・2、3日、自由民主党、民主党及び自由党は、総選挙に向けた比例名簿を発表。
- ・3日、カルポフ副首相は、シュミット独食糧・農業相と会談。両者は、沿ドニエストル問題の平和的解決につき議論。カルポフ副首相は、沿ドニエストル側が今年になって既に3回も「5+2」協議を延期させているとし遺憾の意を表明。
- ・3日、シェフチュク沿ドニエストル「大統領」は、モスクワを訪問し、ロゴジン露副首相と会談。両者は、沿ドニエストルが「ロシア世界」と不可分であり、同地の歴史はロシア史の一部である旨発言。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。

(了)